

# 会 議 録

会議の名称	那珂川町子育て支援推進協議会		
開催日時	平成 28 年 11 月 15 日(火) 15:00 ～ 16:30	開催場所	役場本庁舎 2 階 第 3 会議室
出席者	1. 委員 秋峯委員、飯田委員、平島委員、緒方委員、大谷委員、明星委員、足立委員、萬委員 (欠席者)江島委員、椛島委員 2. 町(事務局) 中村子育て支援課長、春崎子育て支援課長補佐兼子育て支援担当係長、 (子育て支援担当職員)渡邊		
配布資料	資料 2-1:那珂川町子育て支援推進協議会委員名簿、2-2:進捗状況について、2-3:子ども・子育て支援事業計画の見直しについて 当日配布資料:那珂川町認可保育所及び認定こども園の入所状況と申込み状況		

## 議題及び審議の内容

### 1. 会長あいさつ

### 2. 委嘱状交付 (委員交替者のみ)

(課長より)

<第2号委員>明星氏、足立氏

### 3. 委員自己紹介

交替した委員のみ自己紹介

### 4. 第二次次世代育成支援地域行動計画の進捗状況について

(説明:事務局)

・計画書の基本目標 2 から 5 つの事業 (事業 46, 51, 55, 68, 84) をピックアップして、各事業について概要、平成 27 年度の実施内容、指標などについて説明後に各委員から質疑・意見をもらう時間を設けた

#### 【質疑・意見等】

#### ●事業 46:児童館事業の充実

(委員)児童館もこども館と同じように乳幼児から利用があるのか？

(事務局)乳幼児とその保護者の利用もある。

#### ●事業 51:児童虐待防止対策の推進

(委員)子育て支援課の方から幼稚園に対して子どもの状況の確認が入ることがあるが、幼稚園の方からも尋ねたり状況を確認したりすることがあり、互いに連携して情報共有できていて助かっている。

(委員)相談の年齢の内訳はどうなっているか？小学生が多いのか？

(事務局)0歳児が 24 人と一番多くなっているが、他は就学前、小学生ともどの年齢も同じくらいの数にな

っている。トータルでは就学前の方が多くなっている。子どもの泣き声での通報も多くなってきている。

(委員) 一時保護の年齢の内訳は分かるか？また通報からの一時保護が多いのか？

(事務局) 年齢の内訳は資料がないため分からないが、担当に確認すれば分かる。一時保護自体は児童相談所が行うが通報からの一時保護がほとんど。

(委員) こども館でも虐待などに関する研修会は実施していると思うが、そういうイベントには関心がある人は参加するが、来ない人ほど聞いてほしい。

(委員) 虐待防止の月間をもう少しアピールしてはどうか？キャンペーンを大々的に打つなど。意識を高めていくことが必要だと思う。

#### ●事業 55: 幼保連携の推進

(委員) 幼稚園、保育所だけじゃなく小学校とも既に連携してやっているのだから事業名を「保幼小連携の推進」としてほしい。なぜこうなっているのか？

(事務局) 第2次計画の前身の「次世代育成支援地域行動計画」からこの事業があり、名称はそのまま受け継いでいる。次の計画の時には変更する。

(委員) 連絡会議というのは対象は園長先生や校長先生なのか？

(委員) 対象は、保育園・幼稚園・小学校の先生全員。代表者会議は園長先生が来られるところもあれば、それ以外の先生が来られるところもある。

(委員) 情報交換は小学校へ情報を伝えていく。参観は、1学期は保育園・幼稚園の先生が小学校へ行き、2学期は小学校の先生が保育園・幼稚園へ行っている。

(委員) 合同研修会は予算がついていないので、保育所連盟が講師の謝金などを負担している。行政も予算化してほしい。

(委員) 認定こども園は参加しているか？

(委員) 認定こども園の先生も参加していることはあったかと思うが、ほとんど参加してない。

(委員) 認定こども園から来る子どももいるので、ぜひ参加するように声掛けをしてもらった方がよい。

(事務局) 認定こども園の先生にも話をしてみる。

(委員) 学童の先生は連絡会議などには来ないのか？

(事務局) 学童の指導員は参加していない。

(委員) 他市の学童では、指導員が保育園や幼稚園に出向いて行って話をしている。保育園などからの情報がなく、指導員が小学校1年生の対応に困っていることがある。学童の指導員が連絡会議などに参加するというのはどうか？

(委員) 参加してもらえれば、伝えられることは多いと思う。

#### ●事業 68: 療育指導等の充実

(委員) 幼稚園にもにじいろの先生が巡回相談に来てくれて、結果をフィードバックしてくれるので助かっている。

(委員) 支援が必要な子どもが増えているが保護者にどう伝えるかが難しい。

(委員) 療育の先生がもっと増えてほしい。療育のプログラムの中に集団で行うものと個別で行うもののがあって希望する人は多いが先生が少なくて大変。

(委員) 運営は指定管理か？

(事務局) 業務委託で行っている。

(委員) 保育園にも個別にフィードバックに来てもらった。原因は分からないが、療育の対象になる子どもは増えてきており、先生向けにもっと専門的な研修会を開いてほしい。

(委員)連携することが大切なので、スタッフの数も大切だし、質も大切になってくる。

(委員)現時点でのにじいろの利用者数は分かるか？

(事務局)今は資料がないため、福祉課に確認し報告する。

(委員)療育の対象となるような子どもが増えているというのは、昔だったら「ちょっと落ち着きがない」という程度の子も含まれているからではないか。

(委員)今は周りに相談できる人も少なく子どもへの関わり方が分からず、親子の最初の関わりができてなくて、という人も増えているのだと思う。

(委員)3歳児健診は集団でされているのか？

(事務局)3歳児は集団で保健センターで行っている。

(委員)健診の結果とにじいろとは、連携している。

#### ●事業84:体験型プログラムの実施

(委員)事業の内容は、昔子ども会でやっていたような内容だと思うが子ども会ではやってないのか？

(委員)子ども会は、今は役員になってくれる人が少ないので、役員の負担を減らすためにイベントなどは少ない。

(委員)昔は大人が何かをしてくれるというよりも上級生など子どもの中でも年上の子どもが指導してくれるような状況だったと思う。

(委員)小学校5・6年生を対象にリーダーズキャンプなどを実施していた。

(委員)今はイベントとして子どもを集めて事業をすることが多いと思うが、大人が介入し過ぎている。

(委員)子ども会は強制加入ではないのか？

(委員)子ども会ごとに異なる。自動的に加入になるところもあれば、申込書を提出してもらってという任意の形のところもある。

(委員)他市でだが、公民館をすべて回って子ども会の重要性を周知するなどして多くの人に入会してもらったことがある。

(委員)子ども会ごとにいろいろな形で運営されているので育連協でも把握できていない。昔から住んでいる人や公民館の人から、「こういう方法でやって」と言われるとずっとその方法を継承しているところもあるし、運営手法はバラバラ。

(委員)子ども会に入会している子どもの人数にも偏りがある。あるところは任意の入会なので20人程度しかいないが、あるところは強制加入なので120人いる、など。

(委員)子ども会でも子どもが主体的に生き生きと活動できれば、関わる大人も変わってくると思う。

(委員)昔は学校の中で「子ども会活動の時間」というものがあった。

(委員)今はない。地域の子どもの集まってというのは集団下校の時に集まるくらい。

(委員)今の子どもの方がリーダーシップを取れる子どもが多いと思う。

(委員)プログラムが多いと子どもが育たないかもしれない。

(委員)プログラムの参加人数が多ければいい、というものでもない。

(委員)ジュニアリーダーを経験した子は中学生になって、「手伝いたい」という子もいる。

(委員)ジュニアリーダーが活動できる場が増えれば、数も増え、主体性も育っていくのではないか。

(委員)ジュニアリーダーを宣伝する場がないので、どういうものか知られていない。費用もかかるのでなかなか参加者は増えない。

(委員)行政がプログラムをたくさん実施していくのではなく、子どもが主体的に活動してくれるようなプログラムを実施して、長い目で見て育てていかないといけない。

## 5. 報告

### ・学童保育所整備事業について

(説明:事務局)

- ・5つの学童の建築確認が終わり、2月末には工事が完了する見込み。3月議会で学童保育所の定員に関わる条例を改正して、定員を増員する予定。4月からは新しい学童での運営になる。

### 【質疑・意見等】

特になし

### ・計画の見直しについて

(説明:事務局)

- ・第2次次世代計画の中に子ども・子育て支援計画が内包されている。子ども・子育て計画は5カ年の計画で策定が義務付けられたもので、量の見込みと実績とが大きく乖離した場合には、計画の中間年を目安として見直しを行うように基本指針で出されている。
- ・保育所の部分で言うと、平成28年度の計画上の見込みと11月1日時点での待機児童数には開きがあり、来年度は計画の見直しをしなければならない。

### 【質疑・意見等】

(委員)小規模保育を実施する予定はあるのか？

(事務局)今のところ未定。

(委員)町立幼稚園を認定こども園にするという方法を取らないといけないと思う。

## 6. その他

### (1) 次回以降の開催日程について

(説明:事務局)

- ・第3回会議の時期は年明け以降になるが、電話で連絡して日程調整させてもらう。

### (2) 議事録の公開について

(説明:事務局)

- ・会議録については、事務局が作成し会長に確認していただいたうえで公開する予定。  
⇒公開について、異議なく了承